

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年9月26日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年9月26日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【高性能多核種除去設備 塩酸供給ポンプ(1B)吐出配管ねじ込み部からのにじみについて】 当社運転員が、高性能多核種除去設備の循環運転の際、塩酸供給ポンプ(1B)吐出配管ねじ込み部からのにじみを確認。 にじんだ塩酸については、床面への滴下はなく、ふき取り済み。 別の塩酸供給ポンプで塩酸を供給可能であり、設備への影響なし。 今後、吐出配管ねじ込み部の修理を実施予定。</p>	GⅢ	9月13日
2	<p>【大型機器除染設備前段スクリーコンベア(B)の中間軸受の破損について】 協力企業作業員が、タンク除染作業中に「前段スクリーコンベア(※)B非回転異常」の警報が発生し、除染装置が自動停止したことを確認。 現場調査の結果、スクリーコンベア(B)の中間軸受の破損と推定。 今後、軸受の修理を実施する。 軸受の修理には1ヶ月を見込むが、2023年10月から11月にかけて当該除染設備の点検が計画されており、この点検期間で修理が可能であることから、タンク除染作業計画に影響なし。</p> <p>※スクリーコンベア:回転式の除染材供給装置</p>	GⅢ	9月21日